

Strix 10 : 171-179 (1991)

日本におけるツミ *Accipiter gularis* の繁殖状況

遠藤孝一¹・平野敏明²・植田睦之³

はじめに

ツミは、従来日本では北海道、本州、四国、九州のおもに低山帯の森林で少数が繁殖すると報告されていた（日本鳥学会 1974, 日本野鳥の会 1980）。しかし、栃木県や東京都などいくつかの地域では、近年になって市街地周辺の平地林や住宅密集地の公園などでも繁殖しはじめた（大庭 1988, 平野ほか 1988, 竹田 1989, 山口 1989, 遠藤・平野 1990, 植田 1991）。こうしたツミの市街地周辺における繁殖が、一部の地域だけのことなのか、それとも全国的に見られることなのかを調べれば、今後の本種の生息状況の変化を知るうえで貴重な資料になると思われる。このような観点から、筆者らがワシタカ類や鳥類の研究を行なっている全国の人を対象にアンケートおよび聞きとり調査を行なって得た結果を報告する。なお、ツミの営巣場所を公表することは密猟者の注意を引くなど少なからず問題があるように思われるので、営巣地のくわしい場所などについては触れない。

調査方法

ツミの繁殖情報を得るにあたって、日本野鳥の会の会報「野鳥」1991年6月号誌上で情報提供を呼びかけた。また、各地で鳥類やワシタカ類の生息に精通していると考えられる日本野鳥の会会員や日本イヌワシ研究会の会員合計100人にアンケートを郵送した。アンケートの質問事項は、1) ツミの繁殖期の生息状況（繁殖の有無）、2) 繁殖している場合はそのおおまかな生息環境、3) その他ツミについて気づいた点、であった。必要に応じて、アンケート回答者に再度の問い合わせも行なった。ここでは1991年8月10日までに64人から届いた情報に、筆者らによる東京都と栃木県での調査結果および文献資料を加えて検討した。

結果および考察

アンケートの回答は、北海道から沖縄県までほぼ全国から得られた（表1）。巣や巣立ちビナの観察など確実な繁殖記録は38例（44.2%）で、食物渡しのように繁殖中のつがいで見られる行動やつがいの観察など繁殖の可能性のある記録を含めると、ツミはほぼ全国的に生息しているといえる。しかし、関東地方、南九州地方および沖縄県を除くと全体的

1991年10月25日受理

1. 〒320 宇都宮市上戸祭町 2910-13
2. 〒320 宇都宮市吉野 2-3-15 戸室方
3. 〒185 国分寺市西町 1-8-18

に繁殖記録，目撃例とも少なかった。とくに，東北地方からは確実な繁殖記録は得られなかった。これはツミの生息数が少ないことと観察者が少ないからだと考えられ，そう指摘する回答者も多かった。

生息環境は，山地などの森林地帯が多かったが，水田地帯や牧草地，住宅地，およびその周辺地域など，比較的開けた環境からも繁殖記録が得られた。

次に市街地への進出の見地から見てみると，著しい地域的なかたよが見られた。住宅地に隣接して残っている小規模な林や，住宅密集地に囲まれた公園や学校などの植えこみで繁殖した記録は，北海道旭川市と新潟市（常山 1987）の2例を除き，東京，神奈川，埼玉，千葉，茨城，栃木，群馬，静岡，山梨，長野の，関東地方とそれに隣接する地域に集中していた。繁殖例数は，東京や埼玉，栃木，群馬では多数得られたが，茨城や千葉，静岡，長野では1～2例と少なかった。東京では1991年に府中市，清瀬市，町田市，練馬区，国立市，八王子市，国分寺市，杉並区の12か所で繁殖期に生息が確認された。栃木県宇都宮市では，1988年に住宅地内の小規模な林で観察されて以来（平野ほか 1988），急速に繁殖記録が増加し，1991年には住宅密集地やその隣接地域の12か所で繁殖を確認した。

住宅密集地やその周辺で繁殖が最初に確認されたのは，東京では町田市で1984年だった（唐沢 1987）。神奈川では東京とおなじく1984年に大和市で観察された（大和市動植物総合調査会 1990）。埼玉では1981年上尾市のものが，栃木では1988年の宇都宮市および矢板市（巣立ちビナ）のものが最初だった。山梨では甲府盆地で1986年ごろから（青木進 私信），静岡では富士宮市で1987年ごろから（新井真 私信）観察されている。ツミが住宅密集地周辺で繁殖するようになったのは1981年以降のことと考えられる。

一方，北海道や山梨，広島，宮崎，鹿児島（与論町），沖縄各県などでは農村地帯の孤立木や小面積の林，人家の庭木などで営巣していることがわかった。これは前述の住宅地周辺での繁殖と合わせて，ツミの繁殖環境の多様化を示している。すなわち，従来森林性のタカとして知られてきたが，食物や営巣木などが得られれば開けた環境でも繁殖することを意味している。

しかし，なぜ住宅密集地やその周辺環境における繁殖が関東地方やその近隣地方に集中しているのか，またこれが1981年以降になって広がったのかはよく分かっていない。宇都宮市や東京の営巣地は，従来から知られている低山帯の森林と比べても，林内構造や樹高，食物の量などにほとんど変化がないように思われる。ほかの地域でも繁殖しているのに見落とされている可能性はあるが，ツミは春先営巣地でさかんに鳴くことと巣立ちビナがオナガに追われて人家に飛びこんだり，散歩中の人に保護される場合があるので，人通りの多い市街地では見落としは少ないように思われる。住宅密集地域でのツミの繁殖は現在のところ限られた地域で見られているが，埼玉や東京，神奈川から徐々に周辺地域へ広がっているため，今後，ほかの地域でも繁殖することが予想される。とくにツミの繁殖記録が比較的多く得られた中部，近畿，中国地方ではその可能性が高く，住宅地の公園や小規模な残存林を注意して観察する必要がある。また，東京では現在のところ都心での繁殖記録はないが，次第にビル街の緑地などでも繁殖するようになるのか，市街地における繁殖個体数は今後どのように変わるのか興味もたれる。

なお，日本におけるツミの繁殖個体数が増加しているかどうかは，市街地における観察と平行して，丘陵帯や山地帯などの森林でのくわしい生息調査が必要と思われる。

表1. 日本各地におけるツミの繁殖期の生息状況.

Table 1. Breeding status of Japanese Lesser Sparrow Hawk in Japan.

観察地域	年月日 ¹⁾	生息状況	繁殖の ²⁾ 可能性	情報提供者
＜北海道＞				
苫小牧市および ウトナイ湖周辺	1991年現在	秋期の捕獲記録のみ.	C	大畑孝二
旭川市	1977年	郊外河川と人家密集地とに挟まれた幅の狭い見本林で繁殖.	A	森岡照明
帯広市	1990年	農耕地にある学校の敷地内で繁殖した.	A	井関 聡
＜東北地方＞				
岩手県盛岡市郊外	1991年現在	ほとんど見かけない.	C	由井正敏
“ 北部	1991年現在	見かけない.	C	関山房兵
“ 早地峰山	1991年現在	繁殖期に成鳥をよく見かける.	C	関川 実
秋田県	1991年現在	生息は確認しているがくわしくは不明.	C	泉 裕一
宮城県志津川町	1991年現在	ほとんど観察できない.	C	三浦孝夫
“ 河北町	1991年現在	最近の夏期の観察例は1988年の1例のみ.	C	立花繁信
福島県福島市	1991年現在	生息を確認していない.	C	渡辺武夫
＜関東地方＞				
栃木県大田原市	1991年4月	住宅地に囲まれた公園でカラスをモビングする成鳥1羽と古巣を確認.	B	皆川丈夫
“ 西那須野町	1991年7月	住宅地に囲まれた帯状の緑地で繁殖, 少なくとも2羽巣立つ.	A	遠藤孝一
“ 宇都宮市	1991年7月現在	市街地やその周辺の丘陵帯で繁殖. 1991年は市街地では少なくとも6か所で繁殖した.	A	平野敏明
群馬県箕郷町	1981年4月6～7日	田畑人家に飛来, 採食しているようであった.	C	浅川千佳夫
“ 高崎市	1982年5月3日	マツで繁殖.	A	“
“ 安中市	1985年5月11日	街中の神社のマツで繁殖, 6月27日4羽巣立った.	A	“
“ 吉岡村	1986年6月15日	マツ林でつがいを観察.	B	“
“ 前橋市	1987年7月13日	街灯のポールにとまり鳴いたのを観察.	C	“
“ 安中市	1989年6月18日	点在する人家の前の道路沿いのマツで繁殖.	A	“
“ 渋川市	1991年5月25日	住宅地に隣接する林で抱卵中の巣を観察, のち失敗?	A	高橋良寿

表1. 続き.

Table 1. continued.

観察地域	年月日 ¹⁾	生息状況	繁殖の ²⁾ 可能性	情報提供者
埼玉県東松山市	1991年現在	この地域周辺では記録はない。	C	内田 博
“ 鳩山町	1991年現在	飛翔はときおり観察するが、繁殖は確認していない。	C	鈴木 伸
“ 所沢市	1991年現在	雑木林のアカマツで繁殖。	A	永石文明
“ 浦和市	1991年現在	1991年は市内の畑や雑木林の混じる住宅地の合計4か所で繁殖した。	A	海老原美夫
茨城県那珂町	1987年7月26日	農村で帯状の林が南北に長く伸びる地域で幼鳥1羽が撮影された。	C	池野 進
“ 勝田市	1988年5月8日	駅前に広がった市街地で、小鳥をぶらさげて民家の庭木へ入るのを見た。	C	“
“ 大和村	1991年5月7日	幼鳥タイプの雄を捕獲したのち放鳥。山地での記録。	C	“
“ 水府村	1991年5月26日	雌1羽成鳥が鳴いた。山地での記録。	C	“
“ 大和村	1991年6月8日	雄の成鳥がモズの若鳥を襲った。山地での記録。	C	“
“ 山方町	1991年6月15日	雌?成鳥が旋回していた。	C	“
“ 勝田市	1991年4月	市街地の公園と細長い緑地で繁殖。	A	今西貞夫
千葉県沼南町	1986年5月	雑木林で雄が雌にスズメを渡したが、繁殖の確認はできなかった。	B	高橋敏夫
“ 松戸市	1991年5～6月	霊園の桜の木に営巣、食物渡し、交尾などを観察したが、繁殖は失敗したらしい。	A	“
東京都小平市	1988年6月	住宅地と小面積の林、畑地が混在する地域2か所で繁殖を確認、ほかに学校の上	A	久保賢一
	～1991年7月	空をつがいで飛ぶのを確認した。		
“ 清瀬市	1991年5～7月	住宅地内に小面積の林が残る環境で繁殖。ヒナ2羽が巣立ちした。	A	清田 潔
“ 青梅市	1989年7月9日	住宅地から約50m離れた丘陵地の混交林で幼鳥3羽と雌親、営巣木を観察。	A	尾崎 洋
“ 五日市町	1988年7月31日	住宅から300～400m離れた丘陵の植林地で幼鳥1羽を観察。	B	“
“ 府中市	1991年3～7月	市街地にある公園、学校の緑地の2か所で繁殖した。	A	植田睦之
“ 練馬区	1991年6～7月	市街地にある公園の緑地で繁殖した。	A	牧口玲子
“ 板橋区	1991年現在	板橋区周辺では生息を確認していない。	C	岩崎雅典
神奈川県座間市	1990年4～7月	市街地に残された雑木林内のアカマツで繁殖した。	A	竹内 裕
“ 大和市	1991年7月	住宅地に囲まれた公園のマツで繁殖した。	A	本村 健

表1. 続き.

Table 1. continued.

観察地域	年月日 ¹⁾	生息状況	繁殖の ²⁾ 可能性	情報提供者
<中部地方>				
新潟県	1991年5月	海岸の保安林で雄成鳥を観察した。しかし新潟地方では秋冬期、繁殖期ともツミの観察は非常にまれ。	C	常山秀夫
富山県	1991年現在	県内では低山帯で繁殖期に観察したことはあるが、市街地郊外ではない。	C	山本正恵
石川県	1991年現在	県内では白山の標高1,000m前後のブナ林での繁殖記録が1例のみ。	A	上馬康正
“	1991年現在	県内では白山の繁殖記録のみ。	A	池田善英
福井県	1991年現在	県内ではツミの数は多くないと思う。	C	榎本二郎
山梨県	1991年現在	県内では低地の二次林から亜高山帯の天然林まで多く生息している。甲府盆地では基地の孤立木や田園地帯の道路わきのケヤキ、市街地の神社などで繁殖。	A	青木 進
長野県望月町	1991年現在	山地帯の針葉樹と広葉樹の混交林で1つがいを観察した。	B	小林広幸
“ 佐久市	1987~1991年	針葉樹と広葉樹の混交林で生息を確認。	C	“
“ 高山村	1991年現在	長野県北部では標高400~1,600mくらいの雑木林や植林地で見られる。	C	片山磯雄
“ 小諸市	1985~1988年	人家近くの小面積の林で繁殖、毎年4羽のヒナが巣立った。	A	高橋 正
静岡県富士市	1991年4~6月	住宅地に囲まれた寺の駐車場の近くで営巣、1羽巣立った。	A	遠藤英一
愛知県名古屋市 および近郊	1991年現在	繁殖記録はない。観察はすべて冬期のみ。	C	吉村信紀
<近畿地方>				
滋賀県	1991年現在	鈴鹿山脈では春~夏期生息しているが、公園や市街地では見られない。	C	山崎 亨
京都府夜久野町	1979年4~6月	標高約450~550mの山の中腹の3か所でツミの繁殖を確認した。	A	須藤一成
“	“	“	A	井上陽一
“ 美山町	1977年5月22日	京都大学芦生演習林で雄1羽が食物をもって林内へ入った。	B	堀尾岳行
“ 京都市	1988年6月7日	住宅地と水田がある環境で雄1羽が飛翔した。	C	“
“ 舞鶴市	1989年5月28日	生息を確認。	C	“
“ 美山町	1990年6月14日	京都大学芦生演習林内で巣立ち7~10日前のヒナが巣から落下。	A	“

表1. 続き.

Table 1. continued.

観察地域	年月日 ¹⁾	生息状況	繁殖の ²⁾ 可能性	情報提供者
京都府京都市	1991年現在	比叡山で1～4月に鳴き声を確認したが、市街地での目撃例はきわめて少ない。	C	堀尾岳行
大阪府	1991年現在	公園や市街地などの林では繁殖記録はない。	C	麻生 泉
“ 大阪市	1991年現在	情報は持っていない。	C	堀田昌伸
兵庫県神戸市周辺	1991年現在	繁殖記録はない。	C	友竹 盛
“	1991年現在	県内で過去2例の繁殖記録があるが、市街地付近の繁殖記録はない。	A	中条正英
奈良県	1991年現在	市街地では繁殖も越冬も見たことがない。	C	武田恵世
“ 川上村	1986年	二次林で繁殖した。	A	菊田浩二
<中国地方>				
鳥取県鳥取市周辺	1991年現在	ほとんど観察しない。県内の都市周辺の繁殖情報もない。	C	塩村 功
島根県	1991年現在	繁殖期における生息状況はよくわからない。	C	佐藤仁志
広島県	1989年	自然観察林の林道近くで営巣した。ほかに2例あるが市街地周辺ではない。	A	東常哲也
“	1991年現在	県内ではかなりの数が繁殖している。ほとんどが面積の広い林だが、1か所で市街地近くの人家と林が散在する水田地帯で、ツミが使用した可能性のある古巣を観察した。	A	飯田知彦
<四国地方>				
徳島県	1991年現在	県内では繁殖期、断片的な観察記録はあるが、繁殖確認はしていない。	C	柴折史昭
香川県琴南町	1983年6月25日	山地の中腹のアカマツ林で繁殖。市街地では繁殖していない。	A	川南 勉
<九州地方>				
福岡県北九州市	1990年現在	繁殖記録はない。	C	武下雅文
“	1991年現在	近年における生息、繁殖記録はない。	C	岡山速俊
長崎県	1991年7月現在	県内で繁殖記録はない。	C	鴨川 誠
熊本県	1991年現在	県内における繁殖記録は2例あるが、市街地や町村部などでの営巣記録はない。	A	井上賢三郎
宮崎県小林市	1985年6～8月	農家の庭木(柿)に営巣、4羽巣立った。	A	中島義人
“	1987年5月31日	畑の杉並木の高さ8mのところに営巣。	A	“

表1. 続き.

Table 1. continued.

観察地域	年月日 ¹⁾	生息状況	繁殖の ²⁾ 可能性	情報提供者
宮崎県田野町	1991年3月14日	1羽目撃.	C	中島義人
“ 北川町	1991年5月2日	1羽目撃.	C	“
鹿児島県	1991年現在	生息状況は明らかでない.	C	下池和善
“ 与論町	1991年現在	島内で毎年20つがい前後の繁殖を確認している. 営巣環境はマツ林やモクマオ林が多いが, 雑木林内や人家の門木, 畑わきの孤立木の場合もあり, あまり特定されていない.	A	上野恵也
沖縄県石垣市	1991年現在	村落や周辺の小森林でも繁殖しているが, 山麓の森林が多い.	A	島村 修
“	1991年	人家の庭のデイゴに営巣, 3羽のヒナを確認.	A	宮良祐成

1) 観察年月日がとくに記載されてなく, 生息概況を述べている場合には「1991年現在」とした.

2) 繁殖の可能性は, 営巣場所の確認, および抱卵・育雛の記録や巣立ちビナの記録をA (繁殖している), 繁殖期につがいで観察されたり食物渡しなどの観察記録をB (繁殖の可能性はある), 生息記録のないものや観察記録だけをC (不明) の3つに分けた.

謝 辞

ツミの繁殖情報を得るにあたって次の方々にお世話になった。青木進，新井真，浅川千佳夫，麻生泉，海老原美夫，遠藤英一，榎本二郎，初野謙，堀尾岳行，細谷賢明，堀田正伸，飯田知彦，池田善英，池野進，今西貞夫，井上賢三郎，井上陽一，岩崎雅典，井関聡，泉祐一，鴨川誠，片山磯雄，川南勉，川内博，菊田浩二，清田潔，小林広幸，小谷野敬文，久保賢一，牧口玲子，美馬秀夫，三浦孝夫，皆川丈夫，宮良祐成，本村健，森岡照明，永石文明，中条正英，中村豊，中島義人，成末雅恵，岡山速俊，大畑孝二，尾崎洋，佐藤仁志，関川実，関山房兵，柴折史昭，島村修，下池和善，塩村功，須藤一成，鈴木伸，高橋良寿，高橋正，高橋敏夫，武田恵世，武下雅文，竹内裕，立花繁信，友竹盛，東常哲也，東條秀徳，常山秀夫，上馬康生，上野恵也，内田博，渡辺武夫，山本正恵，山崎亨，安田亘之，吉村信紀，由井正敏の各氏。また，日本野鳥の会研究センターの金井裕氏にはアンケート送付先を選考するにあたってお世話になった。同研究センターの樋口広芳博士には原稿を読んでもらって，貴重な助言をしていただいた。これらすべての方々にお礼申し上げる。

要 約

1. 日本におけるツミの繁殖状況を知るために，日本イヌワシ研究会や日本野鳥の会の会員を対象にアンケート調査を行なった。著者らの調査結果と文献資料を合わせて検討した。
2. ツミの確実な繁殖記録は少ないものの，繁殖期の生息記録はほぼ全国から得られた。
3. 市街地およびその周辺での繁殖は，東京都，神奈川，埼玉，千葉，茨城，群馬，栃木，静岡，山梨，長野，新潟各県と北海道で確認され，関東地方とその隣接地域に集中していた。
4. 市街地付近での繁殖は1981年以降に観察されるようになった。東京都や栃木県宇都宮市では，市街地における繁殖つがい数が増加していた。

引用文献

- 遠藤孝一・平野敏明. 1990. 市街地周辺におけるツミの繁殖環境と営巣環境. 日鳥会誌 39 : 35-39.
- 平野敏明・石田博之・国友妙子. 1988. 住宅地で繁殖したツミ. Strix 7 : 236-266.
- 唐沢孝一. 1987. マンウォッチングをする都会の鳥たち. 草思社, 東京.
- 日本鳥学会. 1974. 日本鳥類目録 第5版. 学習研究社, 東京.
- 日本野鳥の会. 1980. 鳥類繁殖地図調査 1978. 日本野鳥の会, 東京.
- 大庭健二. 1988. 猛禽類の都市進出. 都市鳥研究会(編). 都市に生きる野鳥の生態, pp. 32-36. 都市鳥研究会, 和光.
- 竹田嘉宏. 1989. 1987年石神井公園でツミ繁殖. ユリカモメ 399 : 10-11.
- 常山秀夫. 1987. バードウォッチング. 保育社, 大阪.
- 植田睦之. 1991. 都市近郊でツミをみるには. 日本の生物 50 : 18-20.
- 山口貞子. 1989. 1988年我が町東久留米市学園町でツミが繁殖. ユリカモメ 399 : 12-13.
- 大和市動植物総合調査会. 1990. 大和市の脊椎動物 大和市文化財調査報告集 第37集. 大和市教育委員会, 大和.

Breeding records of the Japanese Lesser Sparrow Hawk *Accipiter gularis* in JapanKoichi Endo¹, Toshiaki Hirano² and Mutsuyuki Ueta³

Japanese Lesser Sparrow Hawks recently expanded into residential areas to breed. Breeding records of this species were collected by letters with questionnaire, and 64 persons answered us. Although the breeding records were obtained throughout Japan, the breeding in residential and its surrounding areas were concentrated in Kanto district and its neighboring areas. The breeding in residential areas occurred mainly since 1981. The breeding population has been increasing in Tokyo and Utsunomiya.

1. Kamitomatsuri-cho 2910-13, Utsunomiya, Tochigi 320
2. c / o T. Tomuro, Yoshino 2-3-15, Utsunomiya, Tochigi 320
3. Nishi-machi 1-8-18, Kokubunji, Tokyo 185